

2024 年度  
**海外総合実習  
報告書**



**北海学園大学経営学部**

# Contents

## Part One. 海外総合実習

1. 北海学園大学経営学部の「海外総合実習」	3
2. 実習の目的と学習の流れ	3
3. プログラムの特色と学習効果	4
4. 事前学習スケジュール (2024年度)	5
5. 実地研修スケジュール (2024年度)	5
6. ハワイについて	6
7. ハワイ大学の紹介	8
8. 授業の様子	10
9. 課外活動	12
10. 道内企業訪問1 きのとや	14
11. 道内企業訪問2 ヤッホーブルーイング	16
12. ハワイ企業訪問1 Diamond Bakery	18
13. ハワイ企業訪問2 Aloha Beer	20
14. ホームステイ	22
15. ハワイでの生活	24
16. 総括	26

## Part Two. 北海学園大学経営学部の英語

1. 北海経営English (Hokkai Business English : HBE)	28
2. 英語演習 (浦野ゼミ)	30



ホノルル空港到着時

## Part One. 海外総合実習

# 北海学園大学経営学部の「海外総合実習」

北海学園大学経営学部では、グローバルなビジネス環境に対応できる実践的な英語力を養成するため、**北海経営 English (Hokkai Business English : HBE)**を展開しています。HBE では、1・2 年次の「総合実践英語」科目と 3 年次の「ビジネス英語」科目を通じて、ビジネスシーンで活用できる英語の運用能力を高めることを目的としています。

HBE プログラムのひとつとして、実際のビジネス環

境で英語を使う経験を提供するのが「海外総合実習」です。本実習では、学生が海外の英語環境に身を置き、企業訪問や現地のビジネスパーソンとの交流を通じて、教室での学習を実践の場へとつなげる機会を提供します。単なる語学研修にとどまらず、経営学の専門知識と実務的なコミュニケーション能力の両方を養成するプログラムとして位置付けられています。

## 実習の目的と学習の流れ

海外総合実習の主な目的は、学生が英語を実際に使う場面を経験し、自信をつけることです。その特徴は、日本（北海道）と米国（ハワイ州）という異なるビジネス環境を比較しながら学ぶ点にあります。経営学部のカリキュラムで培った知識を活かし、企業や業界の研究を行うとともに、現地企業のビジネスパーソンと対話し、グローバルな視点を養います。

実習の流れは以下のようになっています。

### ① 事前学習（日本国内）

実習の成功には、渡航前の十分な準備が不可欠です。そのため、以下の活動を行います。

- 業界・企業分析**：経営学の専門教員の指導のもと、訪問予定の企業や関連業界についてリサーチを行い、経営戦略や市場動向を理解する。
- 国内企業訪問**：北海道内の企業を訪問し、実際のビジネス現場を見学する。インタビューやリサーチを通じて、企業の経営方針や課題について学ぶ。
- 英語プレゼンテーションの準備**：現地でのプレゼン

に向けて、訪問企業の分析結果を英語でまとめ、発表資料を作成する。

- 英語コミュニケーション能力の強化**：現地でのコミュニケーションに備え、オンライン英会話や e ラーニング教材で英語力向上につとめる。

### ② ハワイでの実習（語学研修+企業訪問）

渡航後は、ハワイ大学マノア校（ホノルル市）での語学研修と、現地企業訪問を中心にプログラムが進行します。

- 語学研修**：ハワイ大学マノア校の語学学校で実践的な英語コミュニケーションスキルを磨く。
- 異文化交流**：ハワイ大学の学生との交流を通じて、異なる価値観や考え方に触れる。
- 企業訪問・プレゼンテーション**：ハワイの企業を訪問し、ビジネスパーソンと直接対話する。事前に準備した内容を、現地のビジネスパーソンの前で英語で発表し、フィードバックを受け、企業文化の違いやグローバルビジネスの実態について学ぶ。



# プログラムの特色と学習効果

海外総合実習は、語学研修に留まらず、経営学の視点から企業の実務や戦略を学ぶ点に大きな特徴があります。参加学生は以下のような学びを得ることができます。

## 1. 英語での実践的なコミュニケーション能力の向上

- 海外の実際のビジネス環境で英語を使うことで、机上の学習では得られない実践力を身につける。
- ビジネス英語だけでなく、異文化理解を踏まえた対話力を磨く。

## 2. グローバルな視点の獲得

- 日本と米国の企業文化を比較し、国際ビジネスの現

場で求められるスキルや考え方を学ぶ。

- 実際のビジネスパーソンとの交流を通じて、グローバル市場における企業の戦略や課題を理解する。

## 3. ビジネスリサーチ・プレゼンテーション能力の向上

- 事前に行った企業分析をもとに、英語でのプレゼンテーションを実施し、プロフェッショナルな場での発信力を強化する。
- 現地のビジネスパーソンとの質疑応答を通じて、論理的に自分の意見を述べる力を養う。



## 事前学習スケジュール(2024 年度)

4 月	オリエンテーション 英語課題開始 ハワイの地理・歴史・文化 企業分析および業界分析の方法
5 月	日本の産業に関する調査 北海道の企業に関する調査 産業と企業に関するレポートの作成
6 月	企業訪問（きのとや） 企業訪問（ヤッホーブルーイング） プレゼンテーション準備
7 月	プレゼンテーション準備 出発前の留意点の確認
8 月	プレゼンテーション準備 旅行会社によるオリエンテーション

## 実地研修スケジュール(2024年度)

第 1 週	8 月 25 日（日）出国。ホノルル空港到着後ホストファミリーと対面。 8 月 26 日（月）ハワイ大学にてプレースメントテストとオリエンテーション 8 月 27 日（火）英語授業開始 8 月 28 日（水）企業訪問（Aloha Beer） 8 月 29 日（木）Interchange（ハワイ大学学生との交流）
第 2 週	英語授業 9 月 03 日（火）企業訪問（Diamond Bakery）、Interchange 9 月 04 日（水）フラ・ワークショップ 9 月 05 日（木）Interchange
第 3 週	英語授業 9 月 10 日（火）Interchange 9 月 12 日（木）Interchange 9 月 13 日（金）修了式 9 月 14 日（土）ホストファミリーとのお別れ。ホノルル空港より米国出国。
	9 月 15 日（日）日本帰国。羽田空港経由で新千歳空港到着。

# ハワイについて

経営学科 2 年 増田祐名

## ハワイの基本情報

ハワイは北大平洋に在しており、8つの主要なハワイ諸島と北西ハワイ諸島によって構成されています。主要な島としては、オアフ島、ハワイ島（ビッグアイランド）、マウイ島、カウアイ島などがあり、それぞれ異なる特徴や魅力を持っています。ハワイの人口は2024年現在で約140万人です。そのうちの多くはオアフ島に集中しており、オアフ島は観光の中心地でもあります。2023年は約80万人の観光客が訪れたといわれている人気の観光地です。

ハワイにはマラサダ、ロコモコ、ガーリックシュリンプなどの有名な食べ物がたくさんあります。マラサダはもとポルトガルのお菓子でしたが、1880年代に移住したポルトガル人の子孫がハワイで販売したことをきっかけにハワイのローカルフードになりました。また、ハワイならではの特産品でウベ（ヤマモモ科）、タロイモ（サトイモ科）、グアバ、リリコイ（パッションフルーツ）が挙げられます。これらの食材は伝統的なハワイ料理やデザートに使用され、ハワイの食文化に欠かせない存在となっています。

## 環境を大切にする取り組み

私はハワイでウォーターボトルを持ち歩いている人を多く見かけました。ハワイでは日本のようにペットボトルを持ち歩いている人はほとんどいません。現地の人に聞いてみると環境を大切にしたい志向を持っている人が多いそうです。オアフ島では2020年からビニール袋やプラスチック製のカトラリー、ストローなどの提供が禁止されています。この規制はプラスチックごみが海洋生物へ悪影響がな

いように制定されたものです。お店ではエコバッグの取り扱いが多い印象で、どれもデザイン性があるエコバッグでおしゃれを楽しめるものでした。また、2022年からハワイではサンゴ礁に危害を与える成分の日焼け止めの販売が禁止されています。ハワイでは年間約4,000～6,000トンの日焼け止めが海に流れています。この規制はサンゴ礁の保護を目的としたもので、ハワイの美しい海を守るために制定されたものです。私は日本よりも環境保護の意識が高い人々が多いと感じました。ハワイの住民は自然に恵まれたハワイの地を愛し、守っているのだと強く感じた出来事でした。この規制は持続可能な美しい自然に囲まれた観光地づくりにとって重要な取り組みだといえることができます。

## 多文化共生社会のハワイ

ハワイは様々なルーツを持つ人々が多く住む多文化共生社会です。昔から多くの国からの移民が移り住んでおり、様々な国籍、人種の人々が共生して生活してきました。その中で“Pidgin”とよばれる、複数の国の言語がミックスされた独自の言葉も誕生しました。この言葉は移住した異国の人がコミュニケーションをとるために派生されていったといわれています。ハワイでの滞在中では人々とのつながりを感じる場面も多くありました。ハワイでは道ですれ違う際に目が合った人が微笑んでくれ、知らない人でも服装を褒める光景も見られました。このようにフレンドリーで人とのつながりを大切にする姿勢はハワイならではの温かい関係性だと感じました。

さらに、ハワイには「オハナ」という言葉があります。オハナとはハワイ語で家族を意味しますが血縁関係だけでなく、血縁のない人々も含めた広い意味での家族を指します。私のハワイ大学での授業の担任の先生はクラスの全員をオハナだと話していました。また、ホームステイ先のホストマザーと一緒に食卓を囲むとオハナだと話していました。ご飯の時間に、みんなでその日あった出来事をシェアすることは、私たちにとって大事な日常の一部でした。ハワイでは、昔から異なる民族が共に助け合いながら生活してきたことが背景となり、現在もその背景が人々のつながりを大切にする文化として受け継がれているのだと感じました。



# About Hawaii

Yuna Masuda

## Basic Information about Hawaii

Hawaii is located in the North Pacific Ocean and consists of eight main islands and the Northwestern Hawaiian Islands. The main islands include Oahu, Hawaii (Big Island), Maui, and Kauai, each with its own unique features. In 2024, about 1.4 million people live in Hawaii, and most of them on Oahu. Oahu is also the main tourist destination, attracting about 800,000 visitors in 2023.

Hawaii is famous for foods like malasadas, loco moco, and garlic shrimp. Malasadas were first made in Portugal but became a popular Hawaiian snack when Portuguese immigrants arrived in the 1880s. Hawaii is also known for local foods such as ube (purple yam), taro, guava, and lilikoi (passion fruit). These are used in traditional dishes and desserts, making them an important part of Hawaiian food culture.

## Caring for the Environment

In Hawaii, many people use reusable water bottles, and plastic bottles are much less common than in Japan. People in Hawaii care a lot about nature. Plastic bags, forks, spoons, and straws have been banned on Oahu since 2020. This rule helps keep plastic waste from hurting sea animals. Many shops sell reusable bags with fun designs, so people enjoy using them.

Also, since 2022, sunscreens with chemicals that harm coral reefs have been banned. Every year, 4,000 to 6,000 tons of sunscreen go into the ocean. This rule was made to protect coral reefs and keep Hawaii's ocean clean and beautiful. I felt that people in Hawaii are more conscious of protecting nature than those in Japan. Hawaiians love their land and ocean and try hard to protect them. This is an important step to keep Hawaii's nature safe and beautiful for the future.



## Hawaii's Multicultural Society

Hawaii is a multicultural society where people of diverse backgrounds live together. Over the years, immigrants from many countries have settled in Hawaii, creating a community of various nationalities and ethnicities. This cultural melting pot gave rise to "Pidgin," a unique language that blends elements of several languages and was originally developed to facilitate communication among immigrants.

During my stay, I often experienced the warmth and connections among people. For instance, strangers would smile at me in passing or compliment my outfit, reflecting Hawaii's friendly and inclusive nature. I felt that these warm and meaningful interactions were a hallmark of Hawaii's culture.

Hawaii also has a special word, *'ohana*, which means family in Hawaiian. However, it extends beyond blood relatives to include a broader sense of family, encompassing non-relatives as well. My professor at the University of Hawaii referred to the entire class as *'ohana*, and my host mother often said we were *'ohana* when we shared meals together. These moments of sharing daily experiences around the dinner table became an essential part of my life in Hawaii.

Hawaii's history of different ethnic groups supporting each other has shaped its current culture, where human connections and mutual support remain deeply valued.





# ハワイ大学の紹介

経営学科 2年 倉谷友里香

## ハワイ大学

今回私たちが通ったハワイ大学マノア校は、ハワイ州オアフ島にある大学です。歴史の古い名門大学で規模の大きい総合大学です。さまざまな国から留学生を受け入れている、良い環境で英語を学ぶことができます。ハワイ大学では複数の語学研修プログラムが設けられており、私たちは3-Week NICE プログラムに参加しました。ワイキキからバスで約30分とは思えないほど、自然が豊かで落ち着いた雰囲気でした。大学内は、3週間ではすべての施設に行くことができないほど広く、あらゆる場所にバス停が設置されていて驚きました。キャンパスセンターやブックストア、体育館や図書館、劇場などたくさんの施設がありました。体育館に付属しているジムで運動する学生や、友達と体育館でバスケットボールをしている学生など、授業以外でも大学生活を楽しんでいるようでした。また、フードコートやカフェなどの飲食店も充実しており、大学で昼食をとることも楽しみの1つでした。慣れない英語での注文は緊張しましたが、良い経験になりました。ブックストアには、学生に必要な文房具はもちろん、ハワイ大学のTシャツやストラップなどのグッズがたくさん売られていました。カッコいいロゴやシンプルなデザインが多く、大学内でそのグッズを身に着けている学生もたくさん見かけました。

## ハワイ大学での気づき

私たちが通っている間、学生主体で行っているイベントがたくさんありました。特に印象に残ったイベントは、ブックストア前にある広場で、制限時間内にバスケットゴールに何点入れられるかのゲームや、水風船を割ることができたら人が水の中に落ちるというゲームです。どれも面白く、テレビ番組を見ている気分になりました。他にも、学部ごとのインスタグラムのフォローをしたら景品をもらえるなど、たくさんの人との交流をしていました。古着やアクセサリを安価で売っているコーナーもあり、日本の大学との違いを感じました。日本ではなかなかこのようなイベントは見られないのでとても新鮮でした。普段できない体験ができるので、この

ようなイベントに参加してみるのもNICEプログラムでの留学のひとつの良さだと思います。また、大学内をスケートボードで移動していたり、長い間外のベンチで友達とお話していたり、とても自由な雰囲気でした。時間の流れがゆっくりに感じ、落ち着いて生活できたのも、この自由な雰囲気が関係していると思いました。

## まとめ

ハワイ大学はさまざまな国から留学生を受け入れているため、ハワイ大学の学生と交流するインターチェンジでいろいろな国の方と交流することができました。同じ英語でも、アクセントの位置や発音の仕方が違うなど多くの発見がありました。実際に大学内で学生にインタビューする授業では、優しくインタビューに答えてくれたり、「日本ではどうなの？」と質問をり返してくれたり楽しく交流することが出来ました。現地の人と交流し、文化や歴史を知ることができるのはもちろん、留学生との交流で他の国の文化も知ることができました。多くのイベントを開催し、いろいろな国の方との交流を通してそれらの国の文化に触れ合うことで、楽しく生活を共にしていけるのだと思いました。日本の大学ではハワイ大学のような1つの場所にさまざまな国の方が集まり、交流できる場は無いのでとてもいい経験になりました。





# University of Hawaii

**Yurika Kuraya**

## University of Hawaii

The University of Hawaii at Mānoa is located on Oahu Island and is a well-known and respected school with a long history. It is a large university where students from many countries come to study English in a great environment. We joined the 3-week NICE program, one of the language learning programs at the university. Even though it's only a 30-minute bus ride from Waikīkī, the campus is surrounded by nature and has a peaceful atmosphere.

The campus was so large that it was impossible to visit all the facilities in just three weeks. There were many bus stops throughout the campus, showing how big it was. The university had a campus center, a bookstore, a gym, a library, a theater, and more. Students seemed to enjoy their time outside of class—some worked out in the gym, while others played basketball with friends.

The campus also had many places to eat, such as food courts and cafes, which made lunchtime enjoyable. Ordering food in English made me nervous at first, but it turned out to be a good learning experience. The bookstore sold not only school supplies but also University of Hawaii T-shirts and keychains. Many students wore these cool and simple designs around campus.

## What I Learned at the University of Hawaii

While we were there, we saw many fun events organized by students. One event I remember well was

held near the bookstore and included games like shooting basketballs to score points within a time limit or hitting a target with water balloons to dunk someone into a tank of water. These games were very entertaining, and it felt like watching a fun TV show.

Other activities included following social media accounts of different departments to win prizes and getting second-hand clothes and accessories at low prices. These events felt very different from what we usually see at Japanese universities and were refreshing to experience. Experiencing new things like this was one of the highlights of the NICE program.

I also noticed how students enjoyed a great deal of freedom in their campus lives. For example, some rode skateboards to get around, while others spent hours chatting with friends on outdoor benches. This relaxed lifestyle made me feel calm and comfortable as well.

## Conclusion

The University of Hawaii welcomes students from many countries, so we had the opportunity to talk to people from different backgrounds. In an exchange program, I learned that English accents and pronunciation can vary depending on where people are from.

In one of our classes, we interviewed local students who kindly answered our questions and even asked us about Japan. These interviews were fun and meaningful. Talking with both local and international students helped me understand more about their cultures and ways of life.

Through all the events and exchanges, I realized that

people from different countries could live and enjoy life together. This was very different from Japanese universities, where such opportunities are rare. It was an amazing and unforgettable experience.



# 授業の様子

経営学科 2 年 附田楽夏

## NICE プログラムについて

私たちはハワイ大学マノア校で、New Intensive Courses in English (NICE) の提供する 3-Week NICE Program という英語学習プログラムに 3 週間参加しました。このプログラムは、英語でのコミュニケーション、文化、コミュニティに焦点を当てており、私たちはハワイの文化に触れながら、実践的なコミュニケーションを通じて英語を学習します。

初日は、オリエンテーションとキャンパスツアーがあります。オリエンテーションではハワイでの過ごし方や注意すべき点についての説明を聞きました。そして、クラス分けのため、先生方とそれぞれ一対一で英語での面接がありました。その後は、私たちのような留学生をサポートしてくれる学生がおり、その学生たちがキャンパスツアーをしてくれました。ハワイ大学のキャンパスはとても広く、フードコートや大きなジム、沢山の建物と日本庭園のような場所もありました。暖かい地域ならではの開放的な建物が印象的でした。

私たちが今回参加した秋の（アメリカでは 9 月に二学期が始まるそうです）NICE プログラムでは、ほぼ全員が日本人で、150 名ほどが全国各地から集まっていました。ハワイでたくさんの新しい友達を作ることができましたし、授業を通して仲を深めることが出来ました。緊張や不安もありましたが、先生方はみな優しく私たちに

寄り添ってくれ、積極的に英語を学ぶことができました。

## 授業について

NICE の授業は平日の 12 時半から 16 時半の間にあります。授業内容はクラスによって異なっていましたが、オーラルコミュニケーションに焦点を当てた授業が多かったです。ペアワークやロールプレイはもちろん、リーディングやライティングの学習、ハワイ語の学習も行いました。授業内で行う英語を使ったゲームはとても盛り上がりました。授業中は英語で話さなければいけないため、自然と英語でのコミュニケーション能力を向上させることができました。みんな英語を学びたい！といった意志を持っているので、お互いに高めあえるような空気感があります。さらに、授業のプログラムの中には、週 2 回 Interchange というハワイ大学の学生と英語で交流する機会がありました。Interchange を通じて、ハワイ大学に在籍する学生の日常生活やハワイでの生活について知ることができ、とても楽しく貴重な経験をすることができました。最終週には、最終課題として英語でのプレゼンテーションをクラスで行いました。それぞれのクラスで内容は異なりましたが、私のクラスではハワイの環境問題についてプレゼンテーションをしました。準備期間は短かったですが、普段学んでることも住んでいる場所も違う学生と一緒にプロジェクトに取り組むのはとても楽しく、良い刺激になりました。プログラ

ムの最終日には、Graduation Ceremony と呼ばれる卒業パーティーが行われました。式の前にはおいしい軽食をいただきました。そして、1 人ずつ担任の先生よりハワイ大学の修了証明書を授与していただき、記念撮影をしました。3 週間はあっという間でしたが、クラスで出会った仲間たちと先生のおかげで、ハワイでの学校生活が思い出たくさんものになりました。



# Classes

Rana Tsukita

## About the NICE Program

We joined the 3-week NICE (New Intensive Courses in English) program at the University of Hawai'i at Mānoa. This program focuses on English communication, culture, and community. While learning practical communication skills, we also got to experience Hawaiian culture.

On the first day, we had orientation and a campus tour. During the orientation, we learned about life in Hawai'i and things to be aware of. After that, we had one-on-one interviews with teachers to decide our class level. Later, student supporters gave us a tour of the campus. The University of Hawai'i campus is huge, with food courts, a large gym, many buildings, and even a Japanese garden. The open design of the buildings, suited to the warm climate, left an impression on me.

We participated in the fall session of the NICE program (the second semester in the U.S. starts in September), which was mainly attended by Japanese students—about 150 people from all over Japan. I made many new friends in Hawai'i and got closer to them through classes. Although I felt nervous and worried at first, the kind teachers encouraged us, making me feel more comfortable and confident in learning English actively.

## About the Classes

The NICE classes were held on weekdays from 12:30 PM to 4:30 PM. The content of the lessons varied depending on the classes, but many focused on oral communication. We practiced pair work, role-plays, reading, writing, and even learned some Hawaiian language. It was very fun to play games in English in class. Since we had to

speak English in class, my communication skills naturally improved. Everyone in the program was motivated to learn English, so it created a supportive and inspiring atmosphere.

Additionally, twice a week, we had a program called Interchange, where we interacted in English with students from the University of Hawai'i. Through these sessions, we learned about their daily lives and experiences in Hawai'i. This was a enjoyable and valuable experience for me.

During the final week, we gave presentations in English as a final project. Each class had a different topic, and my class focused on environmental issues in Hawai'i. Although the preparation time was short, collaborating on a project with students from different backgrounds was enjoyable and exciting. On the last day of the program, we had a graduation ceremony. Before the ceremony, we enjoyed delicious refreshments. Then, we received certificates of completion from our teachers and took photos. The three weeks had passed in the blink of an eye, but thanks to my classmates and teachers, my time studying in Hawai'i was filled with wonderful memories.





# 課外活動

経営学科 2 年 菊地愛理

## 月曜日のエデュケーショナルアクティビティ

NICE プログラムの月曜日は、教室でいつも通り授業を受けるのではなく、外に出て活動をする日でした。この活動はエデュケーショナルアクティビティと呼ばれ、クラスごとに行く場所が様々で、同じクラスの仲間たちと活動をしました。博物館、美術館、動物園やショッピングセンター、街頭インタビューなどのそれぞれの活動を楽しむことができました。

私のクラスでは1週目にアラモアナショッピングセンターに行きました。ドラッグストアやスーパーマーケット、ブックストアなど様々なお店に行き、グループの仲間と課題に取り組みました。また、家族宛てに手紙を書き、日本へ手紙を出すという活動も行いました。グループで課題を解決する取り組みは、1人では勇気が出ないことにも挑戦することができ、クラスメイトと仲が深められたとても良い思い出です。

2週目はカメハメハ大王像のあるハワイ州最高裁判所とハワイ州立美術館に行きました。裁判所では模擬裁判を行ったり、ハワイの法の歴史を学びました。また、昔の土地制度や権利の教訓も知ることができました。美術館ではグループで沢山の作品を見て回り、感想や考えを伝え合いました。独自の文化と歴史、環境保護や社会問題に対するコメントが多く出ました。異文化理解の重要性やアートの力を実感でき、沢山の学びと発見があった時間でした。

## 土曜日のオプションアクティビティ

土曜日は、自由参加のアクティビティが準備されていました。これはインターチェンジャーというハワイ大学の学生と共に回ります。

1週目はカカアコファーマーズマーケットでした。私は行けませんでした。ハワイの新鮮な野菜や果物、雑貨、ローカルフードなどを楽しむことができたと言いました。新鮮なトロピカルフルーツや美味しいローカルフードを堪能できるだけではなく、フレンドリーな地元の人々と交流ができる素敵な場所だったそうです。

2週目はパールハーバーに行きました。私のホームステイ先は中心部から遠いワイパフという街にあり、

大学や観光スポットに行くにはとても時間のかかる場所がありました。しかしパールハーバーは比較的近い場所があり、ありがたいことに訪れやすかったです。真珠湾攻撃の展示品、動画、沈没船などを見て、今まで第二次世界大戦を日本側の視点からしか見てこなかったのもとても新鮮な気持ちになりました。そしてアメリカと日本の歴史認識の違いを感じ取ることができました。ハワイに真珠湾攻撃を仕掛けた当事国の身として、とても心が傷むと共に両国の歴史と向き合える貴重な経験になりました。

## 10年ぶりのフラダンス！

また、私たちは授業で現地のプロの講師からフラダンスを習う時間がありました。なんと2時間もレッスンがありましたが、先生がとても明るく面白い方で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。また、フラダンスだけではなく、ハワイ語や文化なども楽しく学ぶことができました。私は小学生の頃に少しだけフラダンスをやっていましたが、まさか現地で踊れるとは思っていなかったのも嬉しかったです。約10年ぶりにフラダンスを踊って初めはごちない感じでしたが、ハワイアン音楽がとても懐かしく、心が安らぎました。クラスメイトと素敵なハワイアン音楽と一緒に踊ることができてとても楽しく幸せな時間でした。ハワイ文化の魅力に改めて気づかされました。

この3週間、沢山のアクティビティを通して充実した日々を送る事ができました。沢山の学びや経験によって自分自身が成長したと感じています。この素晴らしい体験に感謝し、マハロ～！



# Extracurricular Activities

Airi Kikuchi

## Educational Activities on Mondays

On Mondays in the NICE (New Intensive Courses in English) program, instead of having regular classroom lessons, we participated in outdoor activities. These were called “Educational Activities,” and each class visited different places. We enjoyed activities like museums, art galleries, zoos, shopping centers, and even street interviews.

In the first week, my class went to the Ala Moana Shopping Center. We visited many stores, such as drugstores, supermarkets, and bookstores, and worked on group tasks together. We also wrote letters to our families and mailed them to Japan. Working as a group helped us try things we wouldn't do alone and brought us closer as classmates. It was a great memory!

In the second week, we visited the Hawaii State Supreme Court, where the statue of King Kamehameha is located, and the Hawaii State Art Museum. At the court, we did a mock trial and learned about the history of Hawaii's legal system, including lessons on old land systems and rights. At the art museum, we explored many artworks in groups, sharing our thoughts and opinions. We discussed Hawaii's unique culture, history, environmental issues, and social issues. This experience helped us understand the importance of cultural exchange and the power of art. It was a time full of learning and discovery!

## Optional Activities on Saturdays

On Saturdays, we had the option to participate in vari-



ous activities. These were guided by Interchangers, who are students from the University of Hawaii.

In the first week, the activity was a trip to the Kaka'ako Farmers Market. Although I couldn't go, I heard it was a great place to enjoy fresh fruits and vegetables, handmade goods, local food, and more. People said it was not only a chance to taste tropical fruits and delicious local dishes but also to interact with friendly locals.

In the second week, we visited Pearl Harbor. My homestay was in Waipahu, a town far from the city center, so it usually took a long time to get to the university or tourist spots. However, Pearl Harbor was relatively close, which made it easier to visit. At Pearl Harbor, we saw exhibits, videos, and the remains of sunken ships. It was a new experience for me because I had only learned about World War II from the Japanese perspective before. I felt the differences in how history is understood in Japan and the U.S. Visiting Pearl Harbor as someone from the country that initiated the attack was emotionally heavy, but it was also a valuable opportunity to reflect on the history of both nations.

## Hula Dance for the First Time in 10 Years!

We had a chance to take a hula dance lesson from a professional local instructor during class. The lesson lasted two hours, but the teacher was so cheerful and funny that the time flew by! Not only did we learn hula, but also we learned about Hawaiian language and culture in a fun way.

I used to practice hula a little when I was in elementary school, so I was thrilled to dance in Hawaii—it was something I never expected! Dancing hula for the first time in about 10 years felt awkward at first, but the Hawaiian music brought back warm memories and made me feel so relaxed. It was a wonderful time dancing to beautiful Hawaiian music with my classmates. I truly enjoyed it and felt happy, rediscovering the charm of Hawaiian culture.

These three weeks were filled with exciting activities, and I had such a fulfilling time. Through all the learning and experiences, I felt like I had grown so much. I'm incredibly grateful for this amazing experience. Mahalo!

## 道内企業訪問 1

# きのとや

経営学部経営情報学科 2 年 高貝梨々夏

### はじめに

今年度は北海道を代表する製菓業「きのとや」を訪問させていただきました。地元民から愛されるシンプルなケーキだけでなく、観光客にも人気のチーズタルトやソフトクリームも販売しており、私たちにとって馴染みのある興味深い企業でした。

### きのとやの魅力

私たちは企業訪問をさせていただく前に SNS や過去の密着動画から多くの感動を得ました。その中でも印象的だったのは従業員に向けた制度が多くある点です。初めに、誕生日お祝い金制度では、アルバイトを含む全ての従業員に休暇とお祝い金 1 万円が譲渡されます。きのとやでは、誕生日は「親に感謝を伝える日」と定義され、従業員は誕生日に親と食事に行ったり、プレゼントを渡したりするようです。次に夏季特別休暇制度です。従業員は毎年二週間の連続休暇が取得でき、家族との旅行や帰省、趣味を楽しむことができます。この休暇により仕事へのモチベーションも向上するようです。他にも社員を思いやった多くの制度があります。従業員への愛や優しさを感じて温かい気持ちになりました。また、1997 年、きのとやでサルモネラ菌食中毒事故が起きました。社長は「パティシエは何も悪くない。悪いのは自分だ。」と全社員の前で謝ったそうです。どんなに偉くなっても自分を顧みる姿に感動しました。一度ついたマイナスイメージはなかなかぬぐえないように感じますが、きのとやではこの事故以降、さらに安心・安全を最優先に心掛けたケーキ作りが進められ、現在の北海道を代表する製菓企業「きのとや」に至っています。

### 企業訪問にて感じたこと

企業訪問当日、東苗穂の本社工場で中田社長が私たちを迎え入れてくださいました。社長と話し合う機会は今までも数少なかったのですがとても緊張しましたが、中田社長は「では皆さんお茶を飲みましょう。会議が始まると中々このペットボトルを開ける人は居ませんからね。」と私たちに言葉をかけ、緊張をほぐし、場を明るくしてくださいました。そんな素敵なお中田社長の姿は今のきのとやの象徴のように感じました。きのとやでは 8 割主義が採用されています。この考え方は 2 割のコア層に向けた商品を作ることはせず、必ず 8 割の顧客に向けた商品展開をするというものです。老若男女問わず愛されるシンプルな商品づくりを心掛けていますが、10 人いて 10 人がおいしいと思う商品を生産することはほぼ不可能で、10 人中 8 人がおいしいと思うことですから、とても難しいようです。また、きのとやでは社員が助け合って業務に励んでいます。前述した夏季特別休暇制度でも、誰か一人が休む、そしてそれが長期間ともなると必ずどこかに負担がかり、会社全体として仕事が回らなくなるように感じます。しかしきのとやでは社内でのコミュニケーションが盛んで、長期休暇前にはしっかりと引継ぎを行い、誰かが欠けても仕事が回る仕組みづくりが行われています。「初めからできないと決めつけるな。何でもやってみるべきだ。こんなに休んだらシフトが回らない、ではなく、どうしたら仕事が回るかを考えるのだ」とおっしゃっており、私たち学生でも恐れがちな挑戦を生涯続けるきのとやに感銘を受けました。百貨店では一日 3 回、白石店では 5 回もケーキの配送を行っていますが、お客さんの喜ぶ「出来立て」をよく考えた愛のある手間こそがきのとやが売れ続ける理由なのではないかと思います。

### まとめ

このようにきのとやでは多くの革新的な取り組みが行われています。「きのとやのライバルは今のきのとや」というようにどんなに人気になっても驕らず、競わず、現状をどれだけ超えていけるかを重視し経営していく姿に感服し、惹きつけられました。





# KINOTOYA

Ririka Takagai

## Introduction

We had the opportunity to visit Kinotoya, a famous confectionery company representing Hokkaido. Kinotoya is well known for its simple cakes, which are loved by locals, as well as its popular cheese tarts and soft ice cream, which are enjoyed by tourists. It is a familiar and fascinating company to us.

## The Charm of Kinotoya

Before visiting the company, we learned a lot about Kinotoya through social media and TV news. We found the company's unique policies for employees to be particularly memorable. First, there is a birthday celebration policy. All employees, including part-time workers, receive a day off and a 10,000-yen gift on their birthday. Kinotoya defines birthdays as "a day to thank your parents," and employees are encouraged to have dinner with their families or give them gifts on this day. Next, there is a special summer vacation policy. Employees can take two consecutive weeks off every year to travel with their families, visit their hometowns, or enjoy hobbies. This vacation helps them stay motivated at work. Many other thoughtful policies show care for employees. These policies made us feel the warmth and kindness of the company.

In addition, we were deeply impressed by the management philosophy of the former president, Mr. Naganuma. In 1997, a food poisoning incident caused by salmonella occurred due to improper temperature control of eggs by employees. Despite this, the president publicly apologized, saying, "The pâtissiers are not at fault; the blame lies with me." His humility and willingness to take responsibility moved us greatly. Although a negative repu-

tation can be hard to overcome, Kinotoya has focused on making safety and quality its top priorities since the incident. These efforts have helped the company become one of Hokkaido's leading confectionery brands.

## Impressions from the Company Visit

On the day of our visit, President Nakata welcomed us at the main factory in Higashi-Naebo. Since we rarely get the chance to talk to company presidents, we were very nervous. However, President Nakata lightened the mood by saying, "Let's all have some tea. Once the meeting starts, no one will feel like opening their bottled drinks." His kind words helped ease our tension and brightened the atmosphere. We felt that his warm and friendly personality truly represents Kinotoya today.

At Kinotoya, they follow the 80% principle. This approach avoids targeting only the top 20% of niche customers and instead focuses on creating products for 80% of their broader audience. They strive to create simple products that appeal to people of all ages and genders. However, it's nearly impossible to create something that 10 out of 10 people will find delicious, and even getting 8 out of 10 people to agree is very challenging. This approach to targeting a broader audience is rare in the gourmet industry. We were deeply impressed by Kinotoya's determination and passion for their work.



## 道内企業訪問 2

# ヤッホーブルーイング

経営学科 2 年 品田理彩子

## ヤッホーブルーイングについて

今回企業訪問させていただいたヤッホーブルーイングは、本社を長野県軽井沢に構え、クラフトビールの製造および販売を行っています。「ビールに味を！人生に幸せを！」というミッションを掲げ、独自のクラフトビール文化を日本に浸透させることを目指しています。最近では、2023年にエスコンフィールド北海道内に「そらとしば by よなよなエール」という、世界初のフィールドを一望できるクラフトビール醸造レストランをオープンしました。これにより、ビールを味わうだけでなく、訪れる人々が特別な空間でビール文化を体験できる場を提供しています。

## 組織文化について

今回の訪問で最も印象的だったのは、ヤッホーブルーイングの独特な組織文化です。到着時には、社員の方々がニックネームで自己紹介をしてくださり、社内のフラットで親しみやすい雰囲気が感じられました。さらに、質疑応答の場では、このニックネーム制度が社員同士の距離感を縮め、コミュニケーションを円滑にする効果がある一方で、外部の方に紹介をする際に本名が分からなくなるといったユニークなエピソードを教えてください、大変驚きました。こうしたエピソードは、形式にとらわれず、自由で柔軟な発想を尊重する文化が根付いている証であると感じました。また、ヤッホーブルーイングでは、ブランドキャラクターとして「知的な変わり者」を掲げ、独創的なアイデアを生み出しながらも、知性を兼ね備えた人材を重要視しています。この姿勢が、クラフトビール作りにおける革新性やチャレンジ精神を生み出していると感じました。社員一人ひとりが自分の意見を自由に発信できる環境が整っているからこそ、彼らの情熱と創造性が会社の成長を支えています。こうした柔軟な組織文化は、従業員の一体感や結束を深める大きな要因となっています。一方で、このような組織文化は、日本では特別なもののようですが、海外ではこれはむしろ一般的な傾向があり、日本の企業では制度化や言語化されて初めて実現するものだという印象を受けました。日本企業の多くは、形式的な上下関係や硬

直した組織文化に縛られていることが多いため、ヤッホーブルーイングのように自由な発想を促す文化を作ることが、創造性の高い企業へと成長するための課題でもあったと感じました。

## マーケティング戦略について

ヤッホーブルーイングのもう一つの大きな特徴は、ファンマーケティングを重視している点です。「超宴」というクラフトビールをアクティビティやライブステージを通してより楽しむイベントを開催しています。このようなイベントでは、ファンの声を直接聞くことができるため、商品開発やサービスの改善に反映させるための貴重なフィードバックを得ることができます。また、このような取り組みは小さな規模でも多く行われています。その一例が、成人式の日に大学生を集めて、成人大学生向け飲み会啓発イベント「よなよなエールの飲み会成人式」です。このイベントでは、若者と一緒に理想的な飲み会を考える場を設けました。このような取り組みから、ヤッホーブルーイングは常にファンとともに成長し続けている企業であると感じました。このようなマーケティングは、顧客との信頼関係を深め、ブランドロイヤリティを高めるための重要な方法であり、ヤッホーブルーイングの成功の一因になっていると考えます。

## 企業訪問を通して

今回の訪問を通じて、社員一人ひとりがどの部署にいても「クラフトビールを広めたい」という強い情熱を共有し、この共通の想いが企業全体の原動力となっていることがわかりました。ヤッホーブルーイングのような革新的な企業は、日本企業全体が抱える課題を解決するヒントを与え、クラフトビール業界にとどまらず、他の業界にも大きな影響を与えられる存在であると感じました。



# YO-HO BREWING

Risako Shinada

## About YO-HO BREWING

The company we visited, YO-HO BREWING, is based in Karuizawa, Nagano Prefecture. They produce and sell craft beer. Their mission is “Make beer tasty! Make life happy!” They aim to promote a unique craft beer culture in Japan. In 2023, they opened a craft beer brewing restaurant called “Sorato Shiba by Yona Yona Ale” inside ES CON FIELD HOKKAIDO. This is the world's first restaurant where visitors can enjoy craft beer while watching baseball games. It offers a special space where people can not only drink beer but also experience beer culture.

## Organizational Culture

The most impressive part of our visit was YO-HO BREWING's unique organizational culture. When we arrived, the staff introduced themselves using nicknames, which gave us a friendly and open impression. During the Q&A session, we learned that this nickname system helps employees communicate better by shortening the distance between them. However, they also shared an interesting story: sometimes it's hard to remember real names when introducing themselves to people outside the company. This episode showed that the company values flexible and creative ideas without focusing too much on formalities.

YO-HO BREWING values employees who are both

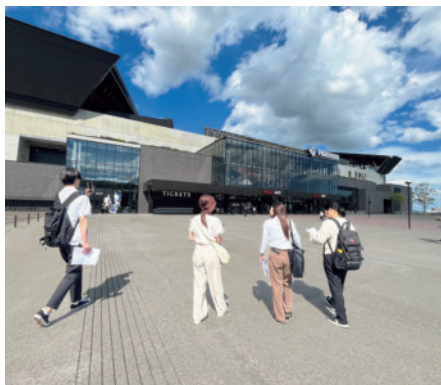
innovative and intellectual, calling them “intelligent oddballs”. This mindset fosters innovation and a spirit of challenge in craft beer production. Employees are encouraged to share their opinions freely, which supports their passion and creativity. This flexible organizational culture creates a strong sense of unity among employees. In Japan, such a culture feels unique, but it's more common overseas. Many Japanese companies still have rigid hierarchies and formal organizational systems. YO-HO BREWING's approach shows the importance of fostering creativity and flexibility to grow as a highly innovative company.

## Marketing Strategy

Another strong point of YO-HO BREWING is their focus on fan marketing. They host events like “Cho-Utage”, where people can enjoy craft beer along with activities and live performances. These events allow them to listen directly to the fans and use the feedback to improve their products and services. They also organize smaller events, such as the “Yona Yona Ale Drinking Party for New Adults.” This is held on Coming-of-Age Day for university students who have just turned 20. The event provides a space to think about ideal drinking parties together with young people. These efforts show that YO-HO BREWING is always growing with its fans. This kind of marketing strengthens customer trust and builds brand loyalty, which is one of the reasons for their success.

## Through the Visit

Through this visit, I learned that all employees, regardless of their department, share a strong passion for “spreading craft beer.” This common goal drives the entire company. I felt that innovative companies like YO-HO BREWING are providing valuable ideas to solve challenges faced by many Japanese companies. Their influence goes beyond the craft beer industry and can inspire other industries as well.





## ハワイ企業訪問 1

# Diamond Bakery

経営学科 2 年 平泉 耀生

### 【訪問先】

今回私たちは、Diamond Bakery という菓製会社を訪問させていただきました。Diamond Bakery は 1921 年にハワイで設立され、長い歴史を誇る老舗のベーカリーです。創業以来ハワイの風味を活かしたクラッカーやクッキーで地元民から愛され、懐かしい思い出や家族団らんの中で食べられることが多いです。日本での訪問企業「きのとや」とは扱う商品の種類がかなり異なる点が多く見つかった一方で、地元を盛り上げるという意味合いでの類似点も発見しました。

### 【見学で得た学び】

白色の工場が立ち並ぶエリアで、黄色の工場がひときわ存在感を放っていました。かなり派手なのではないかと思いつつ入店しましたが、店内はシンプルで、装飾には家族向けに子供が喜ぶ壁紙などが使われている印象でした。マネージャーから Diamond Bakery について詳しく教えていただき、自分たちがインターネットで調べた情報との差異を確認し、新しい情報も得ることができました。その中でも印象的だったのは、「PONO」と呼ばれる会社のミッションやビジョンをまとめた略称で、その中でも「Pursuit of innovation with integrity (誠実さと共に革新を追求する)」という意味の「P」が最も印象に残っています。実際に企業の商品ラインアップにこの理念が現れていると感じました。昔ながらの商品を残しつつも、新しい時代に合った商品を開発する努力を惜しんでいませんでした。時代が変われば好みも変わることをしっかりと心得、トレンドに対応する姿勢が

見られたため、会社の理念として大切にしている部分であると感じました。工場はかなり大規模で、一度に多くの量を生産していると予想できます。その中で感じたことは、手作業の部分のコストです。私が見た中で手作業だったのは、形の悪いクッキーを取り除くことや焼きあがった商品の袋詰めなどの単純作業です。膨大な量を短期間で作り上げるため、AI や機械化が発展した現在、「さらなる進化を遂げるのか」、「最も効率の良い機械と手作業の配分を見つけ出しているのか」について今後の動向が気になりました。

### 【プレゼンテーションを通しての学び】

今回のプレゼンテーションでは、「組織文化」を基にきのとやと Diamond Bakery の二企業を比較して発表を行いました。「組織文化」とは組織メンバーに共有された価値観や信念で、メンバーに思考・行動の指針を示すもので、「シャインの三層モデル」と呼ばれる軸をメインにスライドを作成しました。地元の企業、歴史ある企業という類似点から、高品質な商品、地域社会への貢献という点で似ていることを学びました。この 2 点は当たり前と言及されがちですが、意識し続けることはかなり難しいものです。また、老若男女に愛される企業であるという点から、会社内でしっかり意識し、常に達成してきたものであると感じました。プレゼン発表から得た学びとしては、母語以外で他者に魅力的なプレゼンを伝える難しさです。日常会話と違い、単語のレベルも格段に上がり、組織文化という経営学の要素が加わることで専門的なフレーズも含まれました。しかし、その中で試行錯誤しながらプレゼンを作り上げ、無事に発表しきれたこの体験は非常に貴重で、自分

の中のコンフォートゾーンから抜け出し、確実に成長していると感じることができたため、今後のチャレンジへの自信となりました。



# Diamond Bakery

Kaisei Hiraizumi

## Visit Overview

During our study abroad in Hawaii, we visited Diamond Bakery, a renowned confectionery company founded in 1921. Known for its Hawaiian-flavored crackers and cookies, it has long been loved by locals and often enjoyed with fond memories or at family gatherings. While its products differ greatly from Kinotoya in Japan, both companies value supporting their communities and local culture.

## Lessons Learned from the Visit

In an area full of white factories, the bright yellow building of Diamond Bakery stood out. At first, I thought it was a bit flashy, but the interior was simple, with child-friendly wallpapers suggesting a family-oriented atmosphere.

We learned more about Diamond Bakery from the manager, allowing us to compare online information with what we saw firsthand and discover new insights. One memorable point was their mission and vision, summarized in the acronym “PONO.” Among the meanings, the “P,” standing for “Pursuit of Innovation with Integrity,” left the strongest impression.

This philosophy was reflected in their products. While maintaining traditional items, they also develop new ones to fit modern trends. It was clear they understand changing preferences and strive to stay current, showing their dedication to innovation.

The factory was large, and I could imagine the volume produced. I noticed some manual tasks, such as removing defective cookies and packing products. These simple jobs made me think about produc-

tion costs. Given today's technology, I wondered whether they would further automate or had already optimized the balance between machines and manual labor. This made me curious about the future of their operations.

## Lessons Learned from the Presentation

For this presentation, we compared Kinotoya and Diamond Bakery based on their “organizational culture.” Organizational culture refers to shared values and beliefs that guide members' thoughts and actions. We used Schein's Three-Layer Model as our framework.

Through the comparison, we learned both companies, as local businesses with long histories, focus on high-quality products and community contributions. While these points may seem obvious, maintaining such standards over time is a real challenge. Their popularity among people of all ages showed us these achievements come from consistent and thoughtful efforts.

One important lesson was the challenge of delivering an engaging presentation in a non-native language. Unlike casual conversation, the vocabulary was much more advanced, especially with business terms like organizational culture.

Despite the difficulty, we completed and delivered the presentation through trial and error. The experience pushed me out of my comfort zone, helped me realize my growth, and gave me the confidence to take on future challenges.



## ハワイ企業訪問2

# Aloha Beer

経営情報学科2年 角本梨緒

### 訪問先

私たちは今回、Aloha Beerというハワイのクラフトビール会社を訪問させていただきました。Aloha Beerはホノルルのウォールアートが盛んな街に位置し、開店と同時にお客様が来店されるような人気店です。約20種類のクラフトビールを製造・販売し、お客様がその場でクラフトビールを楽しめるようになっています。Aloha Beerは、親愛という意味を持つ「Aloha」の精神をクラフトビールで広めたいという信念から始まりました。会社名も、お客様がお店に入ってきた際に、「Aloha！（注文は）Beer！」という言葉は何度も聞き、その響きの良さから決定したそうです。日本でもまずはビールという風潮を感じますが、これはハワイでも同じことが起きていることがわかり、人間のビール愛は世界共通なのではないかと感じました。

### 施設見学について

Aloha Beerはクラフトビールをお店で製造・販売しています。お客様がクラフトビールをその場で飲めるようにバーカウンターをはじめとした椅子や机が並べられており、素敵な雰囲気の中でクラフトビールを楽しむことができます。私たちはまずはじめに、社長のソンプレロさんに優しく、朗らかに迎え入れていただきました。沖縄にルーツのある方だったので、その後の説明の中でも私たちにわかりやすい単語を使って説明してくださり、その気遣いや優しさを感じることが出来ました。それから、実際にクラフトビールを製造しているバックヤードを案内していただきました。中はビールの材料であるホップの香りが充満しており、巨大タンクの中にあるクラフトビールの製造を目の当たりにしました。そして、ビールを缶に詰める機械や貯蔵庫、これからビールが詰められる高く積み重なった缶のタワーも拝見しました。その後、二階にあるバーへ行き、大人の雰囲気の漂う中で約20種類のホップの標本を見せていただきました。実際にビールを注いでくださり、ホップによって色、風味、味の

違いがあり、作り手のこだわりを感じることができました。工場見学を経て、そらとしばとの共通点はクラフトビールが大好きであるということです。クラフトビールはこれから成長していく市場なので、クラフトビールに情熱を注いでいる方々の集まりなのだと感じました。

### プレゼンテーションを通して得た知見

今回私たちのテーマは「日本とハワイのクラフトビール会社の組織文化の類似点と相違点」でした。組織文化とは、企業の中で共有されている行動原理や価値観のことです。経営理念や暗黙のルールもこれに当てはまります。組織文化には3つの段階があり、私たちはそれをAloha Beerに当てはめ、そらとしばとの類似点と相違点を探しました。日本とハワイのクラフトビール市場の大きさは全く違い、最初は比較に難しさを感じていました。しかし、調査をしていくうちに2社ともクラフトビールが大好きで、それをより多くの人に知ってもらうためのコミュニケーションに力を入れているという点で類似していると感じました。

そして私たちの最大のミッションは「英語で笑を取る」ということでした。プレゼンテーション中に笑を取れるということは、私たちの話を飽きずに聞いてくださっていることの証明になります。しかし、文化も言語も違えば笑いのポイントも日本人と違うことから難易度の高いことでした。そんな中でどう伝えるかがとても重要でした。笑を取ることに必死で発表直前までずっと悩みましたが、身振り手振りを交えながらなんとか伝えて笑いを取ることが出来ました。文化・言語の違う場所で笑顔の威力を目の当たりにし、コミュニケーションは言語だけではないことを知りました。日本語でも英語でも、今後の生活で忘れないようにしようと思います。





# Aloha Beer

Rio Kakumoto

## Visit Overview

We visited Aloha Beer, a craft beer company in Hawaii. Aloha Beer is located in an area of Honolulu known for its vibrant wall art. It is a popular spot, with customers arriving as soon as it opens. The company produces and sells about 20 varieties of craft beer, allowing customers to enjoy freshly brewed beer on-site.

Aloha Beer was founded with the belief in spreading the spirit of “Aloha,” which means love and affection, through craft beer. The company name was inspired by the cheerful phrase customers often say when entering the store: “Aloha! Beer!” This simple greeting means, “Aloha! I’ll have a beer.” The name was chosen for its catchy and friendly sound, perfectly capturing the welcoming atmosphere of the store. In Japan, people also tend to order beer first, and I realized that this similarity reflects how universal people’s love of beer is.

## Facility Tour

Aloha Beer produces and sells its craft beer right in the store. The shop has a warm atmosphere with a bar counter and seating, allowing customers to enjoy craft beer in a comfortable setting.

First, we were warmly welcomed by the CEO, Mr. Sombrero. He has roots in Okinawa and explained everything in simple words, showing his kindness and thoughtfulness. Next, we were guided to the backyard, where the beer was made. The area was filled with the smell of hops, and we saw the process of brewing craft beer in giant tanks. We also saw beer canning machines,

storage areas, and towers of cans waiting to be filled.

After that, we went upstairs to the bar, where there was a sophisticated atmosphere. There, we were shown samples of about 20 different hops. We were also shown how different hops influence the beer’s color, flavor, and taste, which highlighted the brewers’ dedication. Through the tour, I realized that what all the staff had in common was their shared passion for craft beer. Craft beer is a growing market, and I realized that the people involved are truly passionate about their work.

## Insights from the Presentation

Our theme was “Similarities and Differences in Organizational Culture between Craft Beer Companies in Japan and Hawaii.” Organizational culture refers to the shared values and principles that shape behavior within an organization. It includes management philosophies and implicit rules. There are three levels of organizational culture, and we used them to analyze Aloha Beer while comparing it to similar companies in Japan. Although the craft beer markets in Japan and Hawaii are very different in size, we found similarities through our research. Both companies share a love for craft beer and are skilled at using communication to spread their passion to more people.

Our biggest mission during the presentation was “to make the audience laugh in English.” Gaining laughter during a presentation shows that the audience is engaged and enjoying the presentation. However, because cultural and language differences also affect humor, this was a challenging task. We worked hard to figure out how to deliver our message, even adding gestures to make it more expressive. In the end, we were able to make the audience laugh. Through this experience, I learned the power of a smile, even in an environment with cultural and language differences, and that communication goes beyond words. I will always remember this lesson, both in Japanese and English, throughout my life.



# ホームステイ

経営情報学科 2年 川崎 優

## 【食事】

私たちが3週間という期間を過ごしたホームステイ先は、私たちにとって生活の拠点となる大切な場所でした。ホームステイ先の決定方法としては、ルームメイトは話し合いで決め、ホストファミリーの選定は動物アレルギーや食事制限など、個々の条件を考慮して決定されました。食事に関しては、基本的に朝食と夕食が提供されました。ホームステイ先によって食事内容は異なり、ハワイらしいパイナップルや、日本ではあまり見られない料理が出されることが多かったです。朝食は軽めのものが多く、パンやバーガーが主でしたが、初めて食べる料理が多くても、どれも美味しく、食事に困ることはありませんでした。

## 【ホームステイ先のルール】

次に、ホームステイ先でのルールについて紹介します。ホストファミリーとは初対面での共同生活ということもあり、お互いが快適に過ごすためにいくつかルールが設けられていました。私のホームステイ先では、静かにしなければならない時間帯、洗濯ができる日、そして帰宅時間が決まっていました。しかし、実際にはホスト

マザーと連絡を取れば帰宅時間を延ばしてもらうこともでき、比較的自由に過ごすことができました。ホストファミリーとの柔軟なコミュニケーションのおかげで、窮屈さを感じることなく安心して生活することができました。

## 【ホストファミリーとの関係】

最後に、ホストファミリーとの関係についてです。私のホームステイ先の家族は、4人家族に加えて犬が2匹いました。到着した際には、ホストファザーと娘さんの2人が空港まで迎えに来てくれました。車内では早速私たちの好きな音楽をかけてくれ、フレンドリーな雰囲気が伝わりました。家に着くと、ホストマザーともう1人の娘さんにも会い、すぐにホストマザーがランチを振る舞ってくれるなど、温かく迎えていただきました。さらに、滞在中には近所を一緒に散歩して案内してくれたり、スーパーへ連れて行ってくれたり、手頃な価格で買い物ができるお店を教えてくれるなど、多くのサポートをしてくれました。バスの定期券を買う際には車で連れて行ってくれたこともあり、ホストファミリーの親切さにとても感謝しています。また、日常生活では、朝食や夕食の時間にハワイの文化や現地のおすすめスポットに

ついてたくさん教えてくれました。ホストマザーは私たちが理解しやすいように、話すスピードや言葉を選んでくれたので、コミュニケーションもスムーズに取ることができました。

## 【ホームステイの経験から】

このホームステイを通じて、普段当たり前だと思っていた家族のサポートのありがたさを改めて実感しました。自分の家族以外の人たちと3週間生活を共にするという経験は、私にとってとても貴重で、これからの生活にも活かしていける学びとなりました。



# Homestay

## Meals

The homestay where we spent three weeks became an important part of our daily life. Roommates were chosen through discussion, and host families were selected based on individual conditions such as animal allergies or dietary restrictions. For meals, breakfast and dinner were usually provided. The food varied by the host family and often included Hawaiian pineapple and dishes not commonly seen in Japan. Breakfast was usually light and included items such as bread or burgers. Although we tried many unfamiliar dishes, they were all delicious, and we didn't have any problems with the food.

## Rules at the Homestay

Next, let me explain the rules of the homestay. Since it was our first time living with the host family, some rules were set up to ensure a comfortable life for everyone. At my homestay, there were specific quiet hours, laundry days, and curfew hours. In reality, however, I could ask my host mother to extend the curfew if necessary, so I was able to live relatively freely. Thanks to the flexible communication with my host family, I felt safe and was able to live without feeling restricted.

## Relationship with the Host Family

Finally, I would like to talk about my relationship

## Yu Kawasaki

with the host family. The family I stayed with consisted of four members and two dogs. When I arrived, the host father and one of the daughters picked me up from the airport. They immediately played music we liked in the car, creating a friendly atmosphere. When we arrived at their house, I met the host mother and the other daughter. The host mother welcomed us warmly and even served us lunch right away. During our stay, they took us for walks around the neighborhood, took us to the supermarket, and recommended shops where we could buy things at reasonable prices. They even drove us to purchase bus passes, which was very helpful. I was truly grateful for their kindness. At breakfast and dinner, they often shared stories about Hawaiian culture and local attractions. The host mother spoke slowly and used simple words, making communication smooth.

## What I Learned from the Homestay Experience

This homestay made me realize how important the support of my family is, something I had always taken for granted. Living with people other than my family for three weeks was a special experience, and I learned things that I can use in the future.





# ハワイでの生活

経営情報学科 2年 太田千智

## 平日の午前

私たちが通っていたハワイ大学のNICEプログラムは、午後からの授業だったため平日の午前と土日はフリーでした。私たちのホームステイ先はホノルルのはずれにあったため、学校や都市部までバスで一時間半近く掛かりました。そのため、学校に行く前にどこかに出かけるときは、朝早く起きて行動する必要がありました。それが、思ったよりつらかったのですが、日にちが経つにつれて時間を逆算して行動することができるようになりました。私たちは学校に行く前に、イオラニ宮殿やキングカメハメハの銅像を見に行ったり、学校に行く途中にあるカハラモールでショッピングをしたりしました。そういう日は、お昼ごはんにスパムむすびなどを買って食べました。また、家が有名なビーチに近かったこともあり、ホストマザーが車でビーチに連れて行ってくれたりもしました。ハワイのビーチはとてもきれいで、ぼんやりと見ているだけでも清々しい気持ちになりました。午前中から活発に行動した日は、とても気分が良かったです。

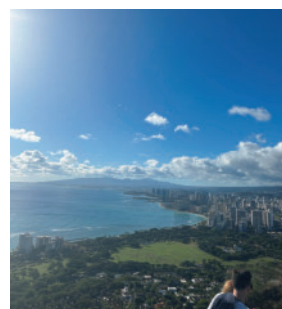
## 放課後

放課後は、私たちのホストファミリーのディナーが19時からだったため、すぐに家に帰らないと間に合いませんでした。そのため、放課後に出歩くことはあまりできませんでした。ですが、ディナーを断って友達と外食をする日もありました。学校終わりにみんなでバスに乗り、ワイキキビーチでテイクアウトしたガーリックシュリンプを横並びになって食べた時間は、とても幸せで夢心地でした。その日の帰りは、バスが遅延して乗り継ぎがうまくいかず、門限の22時を大幅に超えて家に到着しました。そんなハプニングもいい経験でした。他の日も、チーズケーキファクトリーに夜ご飯を食べに行ったりして、充実した放課後を過ごすことができました。また、放課後に学校の敷地内のスタジアムでバレーボールの試合を観戦している人もいました。私は行けなかったのですが、観客や選手たちの迫力はすごかったようです。

## 休日

休日は、朝から夜まで自由に過ごせるのでとても充実

した一日を過ごすことができました。私たちはアラモアナショッピングセンターでショッピングをしました。想像以上に大きく、一日では十分に回れないほどでした。店員さんは日本人の観光客に慣れており、日本語で話しかけてくれるところもありとても驚きました。また、日本と違いショッピングセンター内にベンチの数が多く、休憩をしながら自分のペースで買い物を楽しめるのはいいなと思いました。お菓子屋さんで試食をしながらお土産を買うのは楽しかったです。買い物のほかにも、アラモアナショッピングセンター内にあるステージでフラを見ました。時間になるとたくさんの人がステージに集まっており、私たちは横からしか見ることができませんでした。しかし、フラの迫力はすごくてとても素敵でした。他にも、私たちはビーチに行ったりダイヤモンドヘッドに登ったりとアクティブなことをして休日を過ごしました。友達と海で泳いだり、海につかりながら話した時間はとても楽しかったです。2時間くらい海に入っただけで日焼けをして水着の跡が残りました。それも、ハワイらしくてとてもいい思い出です。ダイヤモンドヘッドは、暑い時間帯を避けるために夕方ごろに登りました。ダイヤモンドヘッドは、大きいようで山頂までの距離は約1.3kmしかありませんでした。ネットで調べたところ、登山の所要時間は30~40分と書いてありましたが、私たちは25分ほどで山頂にたどり着くことができました。気温の暑い時間帯を避けたはずが、登り切ったところには私たちは汗だくでした。山頂からの景色は圧巻で、海も山も、街並みも一望できました。その景色を見たときは、とても達成感に満ち溢れました。自然に囲まれながらたくさん汗をかいて登山をしたので、リフレッシュすることができました。



# Life In Hawaii

Chisato Ota

## Weekday Mornings

The NICE (New Intensive Courses in English) program at the University of Hawaii, which we attended, held classes only in the afternoons. This meant that our mornings on weekdays and our weekends were free. Our host family lived on the outskirts of Honolulu, so it took about an hour and a half by bus to get to school or the city center. Because of this, if we wanted to go somewhere before school, we had to wake up early.

Before school, we visited places like Iolani Palace and the King Kamehameha statue. We also went shopping at Kahala Mall, which was on the way to school. Our host mother also took us to the beach, which was close to our house. The beaches in Hawaii were incredibly beautiful, and just looking at them made me feel very relaxed and happy. On days when we were active in the morning, I always felt great.

## After-School Activities

After school, we had dinner with our host family at 7 PM, so we had to return home quickly to make it on time. As a result, we rarely had the opportunity to go out after school. However, there were days when we skipped dinner to go out with friends.

After school, we all took the bus together and ate garlic shrimp from a takeout place on Waikiki Beach. Sitting side by side, eating, and enjoying the view, was one of the happiest and dreamiest moments of the trip. On the way back, the bus was delayed, and our con-

nection didn't go smoothly. Sometimes we arrived home well past our 10 PM curfew. Although this was a bit of a mishap, it was a good experience for us.

We also had dinners at restaurants like The Cheesecake Factory, and these experiences made our after-school time very enjoyable. Additionally, some of the other students watched volleyball games at the stadium on the school grounds.

## Weekends

Weekends were a great time because we were free from morning until evening. We spent one day shopping at the Ala Moana Shopping Center. It was much bigger than we had imagined, and it was too large to explore in just one day. The store staff was used to Japanese tourists and even greeted us in Japanese, which surprised me.

Unlike shopping centers in Japan, Ala Moana had many benches, which made it easy to take breaks and shop at our own pace. We watched a traditional hula dance performance on a stage in the shopping center. Many people had gathered to watch, and although we could only see it from the side, the performance was very impressive and beautiful.

We also spent time at the beach and climbed Diamond Head. Swimming in the ocean with friends and chatting while floating in the water was incredibly fun. Even though we only spent about two hours in the ocean, we got sunburned and had tan lines from our swimsuits. Despite that, it felt very much like a classic Hawaiian memory.

We climbed Diamond Head in the evening to avoid the hottest part of the day. Although Diamond Head is a relatively short climb with a distance of about 1.3 km to the summit, we managed to reach the top in about 25 minutes, even though the estimated hiking time was 30 to 40 minutes. The view from the top was breathtaking. We could see the ocean, the mountains, and the city all at once. Standing at the summit, we felt an incredible sense of accomplishment. Climbing the mountain and sweating under the Hawaiian sun was a great way to refresh and recharge.



# 総括

経営情報学科 2年 池田 蓮

## 自信の大切さ

私がハワイでの海外総合実習に参加してよかったと思った理由として、英語を使ったコミュニケーション能力の向上はもちろんですが、自分にとって大きかったと感じたのはメンタル面の成長です。日本と違い、ハワイでは自分の意見を英語で伝えることが求められます。例えば、「英語を使うのが恥ずかしい」「自分の意見が正しいか分からないから発言しない」というのは存在しないことと同義になってしまいます。同調を求められる日本とは違い、皆が違ってあたりまえという前提のある海外だからこそ発言しやすく、周りに流されずに自分の意見を主張することの大切さにも気づけました。このような基本的な発言の有無だけでなく、英語を使うということにおいても自信の大切さを実感しました。大学での僕のクラスメイトは海外に住んでいた経験のある人や長期留学経験者、大学で英語を専攻している人が多く、外国籍の人もありました。ネイティブのような発音をする人や、自分の言いたいことをスラスラ表現することができる人がほとんどを占めていたので、最初はこのクラスの中で3週間やっていけるのかとても不安でした。しかし、そのようなクラスメイトや現地の学生、ホームステイ先のホストファザー、街で話しかけてくる陽気な人々と会話を繰り返すうちに、意思疎通が難なくできて「みんなと

遜色無く話せているんじゃないか？ 言いたいこと伝えられた！ 英語使うの楽しいな！」と思った瞬間から僕の不安な感情は全て払拭され、もっと積極的に授業に参加できるようになったり、自分から初対面の学生に話しかけたりできるようになりました。成功体験も重要ですが、まず必要になるものは勇気で、継続に必要なのは自信です。全ては「やるかやらないか」です。

## 日本ではできない経験

私は今まで海外渡航経験がなく、今回の留学が初めての海外経験でした。今回の11人のメンバーの中にも初めての海外経験という人も多いです。個人で行う留学とは異なり旅行会社のサポートや現地では先生の引率があるのでそういった人も安心して参加できるという点がこのプログラムの魅力の一つでもあると思います。海外ということで治安の心配をされている方もいるかもしれませんが、3週間過ごしてみて命の危険を感じたことや差別などによって不快な思いをするということは僕は1度もありませんでした。ハワイという土地自体がもともとは先住民がいた場所であり、そこからさまざまな人種が集まり共生している場所であるので異文化異人種を受け入れるということが根付いている土地なのです。実際現地の学生と交流し会話をしているアメリカのほかカナダやサウジアラビア、インドネシアなど様々な国籍の学

生が居て、それぞれの国の文化について話したことはとても貴重な経験でした。





# Summary

Ren Ikeda

## The Importance of Confidence

I'm glad I joined the program in Hawaii not only because my English communication skills improved, but also because I grew mentally. In Hawaii, of course, it's necessary to express your opinions in English. For example, being too shy to use English or not speaking up because you're unsure if your opinion is correct is like not participating at all. Unlike in Japan, where people often seek harmony and agreement, people in Hawaii naturally embrace differences, making it easier to express yourself. I also realized how important it is to stay true to your opinion without being influenced by others. Beyond simply speaking, I learned that confidence is the key to using English. In my class, many students had lived abroad, studied overseas for a long time, or were English majors. Some were even international students. Most of them had near-native pronunciation and could express themselves fluently, so I was very nervous about whether I could keep up in class for three weeks. However, after talking with those classmates, local students, my host father, and cheerful people I met on the streets, I realized I could communicate without much trouble. There was a moment when I thought, "Am I speaking just as well as everyone else? I got my point across! Speaking English is fun!"

From that point on, all my worries disappeared. I became more active in class and even started conversations with students I met for the first time. While having successful experiences is important, the first thing you need is courage, and to keep going, you need confidence. In the end, it all comes down to whether you take action or not.

## Experiences You Can't Have in Japan

This was my first time traveling abroad, and for many of the 11 members of our program, it was their first overseas experience as well. Unlike independent study abroad programs, this program was supported by a travel company and guided by local teachers, making it easier for first-time participants to feel comfortable. Some people might worry about safety when going abroad, but during the three weeks, I never felt in danger or uncomfortable because of discrimination. Hawaii itself is a place where people of many different races and cultures have gathered and lived together, so the culture of accepting diversity is deeply rooted. When interacting and talking with local students, I met people from many countries, like the U.S., Canada, Saudi Arabia, and Indonesia. Talking with them about the culture of each country was a very valuable experience.



## Part Two. 北海学園大学経営学部の英語

### 北海経営 English (Hokkai Business English : HBE)

北海学園大学経営学部では、海外総合実習をはじめ、学生みなさんが英語に触れ、実践的に活用できる機会を提供しています。これらの英語教育プログラムを総称してHBEとし、入学から卒業までの間、体系的な学びを通じて英語コミュニケーション能力の向上をサポートしています。

HBEのカリキュラムは、1・2年次の「総合実践英語」と3年次の「ビジネス英語」の二つの柱で構成されており、段階的にスキルを高めながら、最終的にはビジネスの現場で使える実践的な英語力を身につけることを目指します。

#### 英語の基本スキルを磨く 1年次・2年次科目（総合実践英語）

1・2年生向けの「総合実践英語」では、英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）をバランスよく強化し、社会で求められる最低限の英語力を養います。

1年生は、以下の2つの科目を必修とし、週2回の授

業を通じて実践的な英語力を磨きます。

#### ●リーディング&ライティング・ストラテジー A（第1学期開講）

○英語の文章を正確に読み解くスキルを養い、自らの考えを論理的に文章で表現する力を強化する。

#### ●コミュニケーション・ストラテジー A（第2学期開講）

○英語での会話力を高め、日常やビジネスの場面で適切にコミュニケーションをとるスキルを習得する。

2年生では、学生一人ひとりの興味や目的に応じて科目を選択できる柔軟なカリキュラムを提供しています。

#### ●リーディング・ストラテジー BI、BII（第1・2学期開講）

○読解力をさらに深め、より高度な英語の文章を理解する力を養成する。

#### ●ライティング・ストラテジー BI、BII（第1・2学期開講）



英語でディスカッションをする様子（リーディング&ライティング・ストラテジー A）

- エッセイやレポートなどの文章作成スキルを向上させ、論理的な英語の文章を作成する力を強化する。
- コミュニケーション・ストラテジー BI、BII（第1・2学期開講）
- ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、実践的な英語の対話能力を磨く。

### 3年次：「ビジネス英語」—実践力の強化

「総合実践英語」で培った基礎力をもとに、3年次からはビジネスシーンでの英語使用に特化した科目を履修することができます。各自のキャリアプランに応じて自由に科目を選択し、卒業後に即戦力となる英語スキルを身につけることを目指します。



自分たちで考案したオリジナル製品の  
ポスター発表をする様子  
(コミュニケーション・ストラテジー B)

### 3年次開講科目一覧

科目名	開講学期	概要
ビジネス・ライティング	第1学期	Eメール、報告書、企画書など、ビジネス文書の書き方を学ぶ。
ビジネス・コミュニケーション	第1学期	ビジネスミーティングでの英語の使い方を習得する。
ディスカッション・スキル	第1学期	ビジネスの場面で意見を述べ、議論をリードする能力を養う。
ビジネス・プレゼンテーション	第2学期	効果的なプレゼンの構成や表現方法を学び、実際に発表を行う。
ビジネス・リーディング	第2学期	経営やマーケティング関連の英文資料を読み解くスキルを向上させる。
ビジネス・ディスカッション	第2学期	海外のビジネスシーンを想定し、英語でのディスカッション能力を高める。



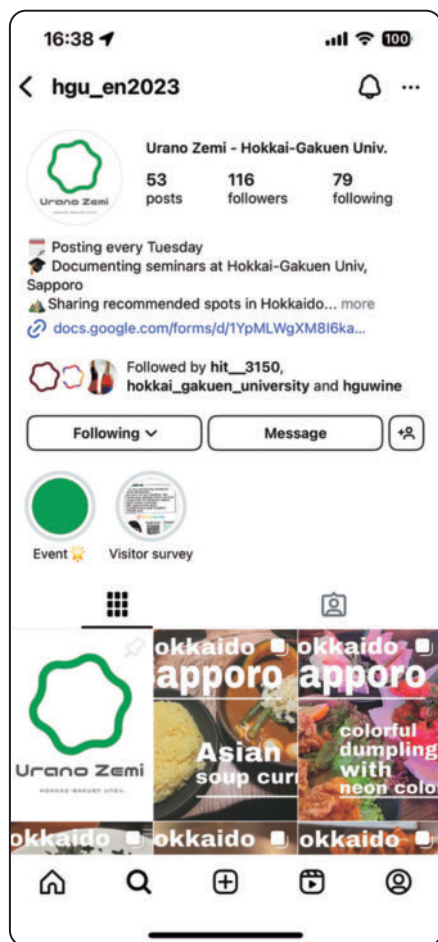
## 英語演習（浦野ゼミ）

隔年開講の浦野ゼミは、(1) 英語力の向上を目指し、(2) 卒業後の人生に英語を結びつけることを考え、(3) 自律的に行動することを重視しています。自律性を大切に行っているため、ゼミでの活動内容は基本的にゼミ生が自分たちで考え、話し合って決定します。毎週のゼミでの活動の他、勉強会やイベント等教室外で行う自主的な活動、長期休業中の海外研修などをこれまで行ってきました。

4 期生（2023 年度～）は、オンラインと対面両方でのような情報発信や交流ができるかを考えています。

### SNS を活用した情報発信

浦野ゼミ 4 期生は、Instagram を中心に SNS で情報



浦野ゼミ Instagram アカウント  
[https://www.instagram.com/hgu\\_en2023/](https://www.instagram.com/hgu_en2023/)

発信を行っています。札幌市を中心とした飲食店に足を運び、自分たちの気に入った店の紹介を日本語と英語で行っています。

### 英語を使った交流

浦野ゼミでは、大学の外に出ての交流も行っています。2024 年度には (1) 市内のゲストハウスと協力して異文化交流イベントの主催、(2) 児童会館でのイベント協力、(3) 北海道を訪れる外国人旅行者へのサーベイ、(4) 札幌留学生交流センターで地域の方々や留学生を対象にした交流イベントの開催を行いました。



ゲストハウスで餃子を作りながら英語で交流の様子



留学生交流センターでのイベントの様子



浦野ゼミ 4 期生の集合写真





## 北海学園大学 経営学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

地下鉄東豊線「学園前」駅3番出口直結（札幌駅より6分）

TEL.(011)841-1161 (代)

経営学部ホームページ <https://ba.hgu.jp>